

三重とこわか国体鳥羽市リハーサル大会開催基本計画

1 目的

第76回国民体育大会「三重とこわか国体」（以下「国体」という。）に備えて開催する競技別リハーサル大会（以下「大会」という。）については、県の「第76回国民体育大会競技別リハーサル大会開催基準要項」及び「三重とこわか国体鳥羽市競技運営基本計画」に基づき、競技会の運営能力の向上と市民の気運醸成を図るため、県、競技団体、関係機関等と協力して開催する。

2 大会の選定

(1) 大会は、県及び競技団体との協議により選定する。

(2) 第73回全日本フェンシング選手権大会（団体戦）

本大会は、令和元 年5月22 日付けで公益社団法人日本フェンシング協会から開催承諾があり、同年7月29日付けで三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会からリハーサル大会として承認されている。

3 大会運営

大会の運営は、原則として国体に準じて実施するものとし、競技団体と協力し、目的や実情に応じ、必要最小限の経費で創意工夫をこらして、質の高い効率的な大会運営に努める。

4 基本事項

(1) 実施本部の設置

大会の運営に万全を期するため、大会実施本部を設置する。

(2) 競技運営

ア 競技運営

競技運営の主管は競技団体とし、市は競技団体との緊密な連携のもと、合理的かつ効率的な運営に努める。

イ 競技記録の収集及び速報

競技団体との緊密な連携のもと、迅速かつ正確な記録の収集及び速報に努める。

(3) 式典

ア 閉会式及び表彰式

閉会式及び表彰式（以下「式典」という。）は、競技団体と協議し、競技運営に支障のないよう簡素化に努める。

イ 式典音楽

式典で使用する音楽は、CD等の活用を図るなど簡素化に努める。

(4) 施設

大会で使用する施設は、原則として国体で使用する競技会場を充てることとし、できる限り国体と同じ条件により行う。また、大会運営に必要な仮設施設については、競技団体及び施設管理者と協議のうえ、整備する。

(5) 競技物品

大会に必要な競技物品については、既存物品を活用することとし、不足する場合は借用での対応を基本とする。また、物品を新たに購入する場合は、必要最小限とする。

(6) 広報・市民運動

大会に対する市民の理解を深め、市民総参加の機運を盛り上げるため、広報活動を行う。

(7) 観光・接伴

大会に参加する選手、監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者（以下「大会参加者」という。）並びに一般観覧者をおもてなしの心で迎えるため、必要に応じて、おもてなしブース等を設置する。

(8) 宿泊・医事・衛生

ア 宿泊

大会参加者がそれぞれの分野で十分な活躍ができるよう、関係機関等の協力を得て、快適な宿泊環境の提供に努める。

イ 医事・衛生

大会参加者及び一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の傷病に速やかに対処するため、関係機関等の協力を得て、医療救護体制を整えるとともに、清潔で快適な環境整備に努める。

(9) 輸送・交通

大会参加者等の輸送については、原則として既存の公共交通機関を利用する。ただし、公共交通機関の状況等から必要と認めるときは、計画輸送を行う。

また、道路及び交通の状況から必要と認めるときは競技会場及び周辺道路に案内誘導標識を掲出する。

(10) 警備・消防

大会を安全かつ円滑に運営するため、関係機関等と連携し、競技会場等における災害の

防止や治安の確保、非常時における緊急対応に万全を期する。

5 その他

この計画に定めるもののほか、必要な事項は、三重とこわか国体鳥羽市実行委員会の各基本計画に準じて実施する。